



## 山の自然学クラブ ご案内

山の自然学クラブではこの基礎講座の他にも、現地講座や室内講座を開催しています。また、会員が自然に関わるさまざまな活動をしています。いずれも会員以外の方も自由にご参加頂けます。詳細はホームページをご覧ください。皆様の参加をお待ちしております。

●「山の自然学講座2025」にご参加の方は当年行事の参加費が会員価格になります

<http://www.shizen.or.jp/>



いつもの山歩きが、楽しくなる。

# 山の自然学講座2025

ニッポンの山ってすごい？ 世界有数の積雪って本当？  
この花はなぜ岩陰に咲いているのだろう？  
この尾根を境になぜ植物が変わるのだろう？  
自然の不思議に気がつき、その成り立ちに思いを馳せると、  
いつもの山歩きが格段に充実します。

## おもな活動内容

### 1. 山の自然学 現地／室内講座の実施

どなたでも参加できる室内講座(座学の公開セミナー)と、各地のフィールドで、専門家の方に現地を見ながらレクチャーしていただく現地講座を定期的で開催しています。テーマは植物や地質、山や森の成り立ち、気候変動など様々。開催地も富士山や北アルプスから都心の身近な場所、三陸地域等各地で開催しています。



### 2. 志賀高原インタープリテーション

毎年、奥志賀のペンション「シャレークリスタニア」では、山の自然学クラブとの共催で、周辺の自然を散策しながら学んでいただく「夏休み自然教室」を開催。山の自然学クラブのメンバーがボランティアのインタプリターとしてご案内しています。



### 3. 高山植生モニタリング活動

中央アルプスの木曾駒ヶ岳、三沢岳の数カ所で継続的に高山植物の植生調査、地中温度の測定などの活動を行っています。長期モニタリングとは、いわば自然の定期健診。毎年の状態を記録しておくことで、変化を知り、悪い兆候を早めに捉えることができます。8月の現地調査では毎年ボランティア参加者を募集しています。



### 4. 富士山森林復元活動

国や森林管理署との協定に基づき、富士山の南麓、標高1,000m付近の国有林で植林活動をしています(富士山南麓森林復元活動)。台風の被害にあって荒廃した人工林の跡を、天然の森にもどすのが目的です。植樹・森の手入れ・種の採取など年間を通して作業があり、毎回ボランティア参加者を募集しています。



### 5. 三陸・北上地域の活動

山の自然学クラブでは「三陸・北上地域の活動」として、自分たちの経験と行動力をもとに、できるところから、自然の恵みを活かして地域に貢献する活動を行っています。様々なNPOや団体、学校法人、現地の方々との協働で「自然学ツアー」「自然再生プロジェクト」「十三浜プロジェクト」などが進行中です。



## お問い合わせ・事務局

## 特定非営利活動法人 山の自然学クラブ

私たち「山の自然学クラブ」は、山の自然を知り、自然を敬い慈しむ心を膨らませ、そして自然を守る活動を行っているNPOです。日本山岳会で1993年から始まった「山の自然学講座」が母体となり、2001年12月に特定非営利活動法人として認定されました。できるだけ多くの皆様と共に自然を学び、その価値を理解し、好ましい地球環境の持続に寄与することを目的としています。



理事長  
大蔵 喜福

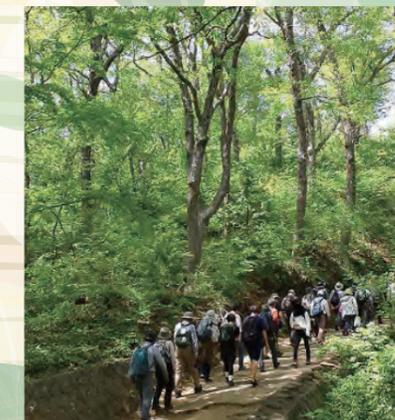
ホームページ <http://www.shizen.or.jp/>

問い合わせ先 山の自然学クラブ 事務局 担当:中村 講座担当:室村/吉岡

〒160-0015 東京都新宿区大京町25 高橋ビル402 緑化工ラボ内  
Tel. 03-3341-3953 Fax. 03-5362-7459  
Mail. shizengaku@shizen.or.jp

## 講師陣

- |        |                                       |
|--------|---------------------------------------|
| 小泉 武栄  | 東京学芸大学名誉教授(著書:「山の自然学」など)              |
| 佐藤 篤司  | 株式会社工学気象研究所(専門:雪氷防災・寒地環境)             |
| 増澤 直   | 株式会社地域環境計画(著書:「植生環境学」など)              |
| 柿崎 喜宏  | 室戸ジオパーク推進協議会地質専門員(専門:地質学、石灰岩の堆積学と層序学) |
| 石井 誠治  | 樹木医、森林インストラクター(著書:「樹木ハカセになろう」など)      |
| 下野 綾子  | 東邦大学理学部(著書:「攪乱と遷移の自然史(共著)」)           |
| 多田 多恵子 | 植物生態学者(著書:「種子(タネ)たちの知恵」「図鑑NEO花」など)    |



# 自然の成り立ちを理解する、全10講座。

日本列島と列島を形づくる日本の山は世界に類を見ない特徴があります。27年目を迎える「山の自然学講座2025」は各分野で活躍する方々を講師に招き室内講座(座学)と現地(屋外)講座を5回ずつ実施します。地質、地形、気候、植生など自然を形づくる様々な要素を取り上げてその成り立ちや相互の関連について広く講義します。日本列島の植生や地形に大きな影響を与えた氷河時代を中心とする自然の歴史、希少な高山植物の分布などについて解説するほか、現地講座では典型的な事例を実地で観察し、自然の仕組みや繋がりについて学んだ知識の活用法を体験します。この講座を受講して、とびっきり山歩きを楽しみませんか。またさらに、野外教育や自然保護活動に活かしてみませんか。

## 実施概要

### ■期間

2025年3月1日(開講)～6月15日 全10回(室内講座5回+現地講座5回:各回参加も可能)

### ■受講料

全10回お申し込み(通し参加)の場合:30,000円(当会会員および学生は25,000円)

オンラインセット割引(室内5回をお申し込み):15,000円(会員区分なし)

講座ごとにお申し込み(各回参加)の場合:3,500円/一講座(当会会員および学生は3,000円)

※現地講座についてはこのほか交通費・入園料等の実費が必要です。※オンライン講座の受講に関わる通信費などは各自ご負担下さい。

### 【参加費に含まれるもの】

- 資料代
  - 現地講座については行事保険料が含まれています。イフオンガイドを希望する方には割引価格での利用をご案内します。  
※山の自然学講座2025を1講座以上受講して頂いた方は、当年開催・実施する当会行事すべてに会員価格でご参加頂けます
- 【全講座通し参加の場合は、上記に加えて以下の特典がつきます】
- 最終日に「修了証」をお渡しします。
  - 前年度の活動をまとめた年報「山から始まる自然保護」を一部差し上げます



修了証

### ■お申し込み方法

1. ホームページ(下記URL)から申し込みフォームに必要事項を記入・送信してお申し込み下さい。または申込書をダウンロード・ご記入の上 メールまたはFAX、郵送でお申し込みください。 <http://www.shizen.or.jp/basic/> ⇒ 

2. 事務局より受付の返信があったら、受講料を下記口座までお振り込みください。

受講料振込先 三井住友銀行 港南台支店172 普通 6610522 山の自然学クラブ  
みずほ銀行 銀座支店035 普通 2569550 山の自然学クラブ

※事務局から申込み確認の連絡をお受け取り後、受講料をご入金ください。入金確認をもって受付完了とさせていただきます。不明点等はお気軽にお問い合わせください。受講料は原則として返金できませんのでご了承下さい(年内別講座に振り替えて受講することは可能です)。

### ■参加申込締切

通し参加 2025年2月28日

各回参加 各講座開催日の一週間前(期限後のキャンセルは実費を頂戴します)

### ■室内講座の時間・会場

時間 (土・日曜日開催の室内講座) 14:00～17:00 ※第4回は13:00～17:00

※開催時間は各回異なりますので ホームページでご確認ください。

会場 新宿NPO協働推進センター(など都内会場)

室戸世界ジオパークセンター(第4回講座)

※室内講座の開催方法は会場開催/オンラインの両方があります。

講座は録画を受講者限定で一定期間視聴できるようにします。詳しくはホームページをご覧ください

### ■現地講座の集合時間・集合場所

集合時間・集合場所、必要な持ち物などについて、申し込まれた方に直接ご案内します。



### 3月1日(土) 第1回室内講座 ※会場+録画視聴

## 「山の自然学事始め ～自然観察の視点と日本の山と世界の山～」

小泉 武栄 先生

日本は7割が山です。岩場で出会う花々やお花畑に癒されたことのある人は多いと思います。種類や名前を覚えるだけでなく、なぜそこに育つのかを考え日本の山が生まれた歴史から世界の山と比較して日本の山の特性を知り、知的な山歩きをしましょう。



### 3月15日(土) 第2回室内講座 ※会場+オンライン

## 「氷と雪の話 ～宇宙、地球環境、雪崩・吹雪・樹氷～」

佐藤 篤司 先生

水は世界に満ちあふれており、温度が下がると雪や氷に変身します。氷は宇宙にも有り、生命の発生に関与の可能性も指摘されています。地上では、美しい結晶として降り積もる雪は美しい景色をつくり、スキー、スケートなどの楽しみを与えています。一方、雪崩や吹雪、着雪、交通障害などの負の面も持っています。極地の雪氷は地球環境の構成要素で、その変動が危惧されています。この氷や雪の多面性について、ミクロから地球規模まで概観してみましょ。



### 4月6日(日) 第3回室内講座 ※会場+オンライン

## 「日本の植生 ～自然を俯瞰する見方を学ぶ～」

増澤 直 先生

世界から見た日本の植生は非常に多様性が高く、また地域によって様々なタイプがみられます。それらは、日本列島の自然の成り立ちを背景として、有史以来の人の営みによって成立したものです。日本の植生帯、地域の植生、特異な植生などについて考えてみましょう。また植生図などの情報の活用や最新の生物多様性保全の考え方についても紹介します。



### 4月13日(日) 第4回室内講座 ※会場(室戸ジオパークセンター)+オンライン

## 「日本の成り立ちと山の地質 ～海から大地が生まれ、そして山になる～」

柿崎 喜宏 先生

室戸ジオパークでご活躍の柿崎先生が現地から講義配信します!現地会場参加も歓迎です。日本列島は「沈み込み帯」の地殻変動によって形成され、各地で特有の地層や岩石が観察できます。山を歩き、地質を学ぶことで日本の特徴を知ることができます。講義では日本列島の成り立ちと各地の山の地質の関係についてお話しします。さらに現地で観察することのできる岩石や地形、植物など、高知や室戸の自然の魅力についてもお話しします。



### 4月20日(日) 現地講座1

## 「地形・地質と植生分布の関わり」

小泉 武栄 先生

奥多摩駅の上流側は峡谷になっています。多摩川の支流の日原川に沿って上流側に歩きます。日原川の源流は奥多摩町川乗水源林として「水源の森百選」にも指定されているところで、点在する石灰岩の深い渓流があり、鍾乳洞などのカルスト地形も見ることができます。地質と樹木の分布の関係なども現地で読み解いていきましょう。



### 5月10日(土) 現地講座2

## 「五感で学ぼう!自然学-樹木の生き方暮らし方」

石井 誠治 先生

皆さんはアイラトビカズラという名前を聞いたことがありますか。九州熊本相良に江戸時代以前から一株だけあり、国の特別天然記念物です。そこから分けられ関東で最も花付が良い個体が神奈川県立相模原公園にあります。今回はトビカズラの花盛りを見に行きましょう。隣の相模原市立横溝公園には周囲を見渡す展望塔があり、横浜まで伸びる水道道が見渡せます。自然豊かな見所満載のエリアの散策をご期待ください。



### 5月18日(日) 現地講座3

## 「湧水と滝の観察」

小泉 武栄 先生

都留市は水の豊かな都市で、至るところで、滝や湧水が見られます。その理由を探ります。富士山山頂から直線で30kmも離れたこの場所で、富士の湧水が崖を滴り流れて滝を成しています。「平成の名水百選」に選ばれた湧水群として「太郎次郎の滝」、湧水で育つ長慶寺の梅花藻(バイカモ)なども見ることができます。同時に土地利用の特色についても考察してみましょ。



### 5月25日(日) 現地講座4

## 「三頭山の地形と植生/スナ林の現状」

増澤 直 先生

～三頭山のブナ林は絶滅寸前か?～ 奥多摩を代表する自然林が残る「三頭山の森」は、東京都の水源林(水がめ)でもあります。檜原都民の森の森林館から三頭大滝をへて、ブナ林に入っていきます。実際にブナ林の斜面や尾根、沢沿いの溪畔林などの地形・地質や植生を体感しながら観察します。太平洋側の数少ないブナ林の現状や今後について現地で考える機会としたいと思います。



### 6月1日(日) 第5回室内講座 ※会場+オンライン

## 「高山植物の生活史と近年の植生変化」

下野 綾子 先生

高山帯は低温・短い生育期間・貧栄養といった厳しい環境条件で特徴づけられます。そこに生育する高山植物の生活史について紹介します。また、近年、地球温暖化あるいは二ホンジカの食圧によって高山植生の変化が深刻となっています。その現状を紹介します。



### 6月15日(日) 現地講座5

## 「したたかな植物たち ～江の島の海岸植生と植物の生態～」

多田 多恵子 先生

観光地・江ノ島で、知られざる自然を探索します。ぐるっと回れば、砂浜、磯浜、急峻な海崖、暖帯照葉樹林、風衝低木林などが観察でき、海辺特有の植物に出会えます。塩分、乾燥、貧栄養、強風など厳しい環境で生きる植物の体の仕組みや戦略を見ていきましょう。野生のガクアジサイやスカシユリも咲くころです。海の生き物や漂着種子も探してみましょ。



@日経サイエンス

相模原公園  
日帰り

都留市  
日帰り

三頭山・檜原  
都民の森  
日帰り

江の島  
日帰り